

- 2面 ワーク・ライフ・バランスを推進する企業を応援します
- 3面 くらしを守る消費生活展
- 4面 20年度人事行政の運営状況
- 7面 エイズや性感染症が心配な方は検査を
- 8面 ホームヘルパー2級資格取得費用を助成
- 8面 区営住宅(空き家)入居者募集



しんじゅくコール
☎ (3209) 9999
(午前8時～午後10時、1/1～3を除く毎日)

発行 新宿区 編集 区政情報課 (毎月5・15・25日発行)
〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1 ☎(3209)1111
ホームページ ☎ <http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/>
携帯電話版 ☎ http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/mobile/index_mobile.html



携帯電話用
二次元コード

子どもが健やかに育つ「子育てしやすいまち」を目指して 次世代育成支援計画(平成22年度～26年度) (素案)がまとまりました



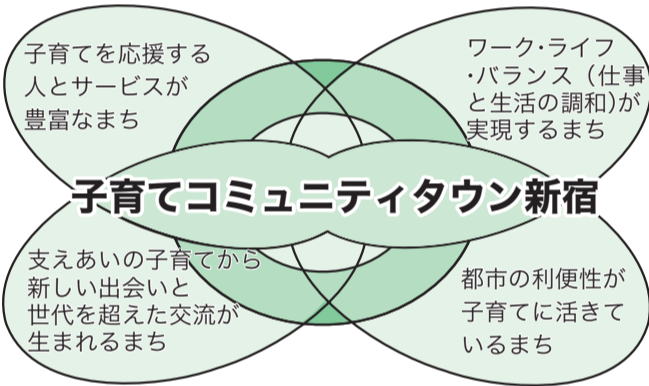
区では、少子社会に的確に対応するため、現在、平成17年度～21年度を計画期間とする「次世代育成支援計画」に基づき、さまざまな施策を展開しています。今回は、今年度策定している平成22年度～26年度の5年間を計画期間とする次世代育成支援計画(素案)の主な内容をお知らせし、パブリック・コメント制度(意見公募)・地域説明会により皆さんのご意見を伺います。計画(素案)の

全文は、子ども家庭課、広聴担当課(本庁舎3階)、区政情報センター(本庁舎1階)で配布するほか、区立・私立認可保育園、区立幼稚園、児童館、子ども家庭支援センター、地域子育て支援センター、特別出張所、区立図書館で閲覧できます。また、新宿区ホームページの子ども家庭課のページでもご覧いただけます。

【問合せ】子ども家庭課企画係(本庁舎2階) ☎ (5273) 4260へ。

区が目指す方向性と施策を発信し、「子育てしやすいまち」の実現のため区民の皆さんとともに取り組むことを目的として、計画の総合ビジョン(将来像・展望)を「子育てコミュニティタウン新宿」とし、具体的な4つのビジョンと5つの目標を定めました。

総合ビジョン・具体的な4つのビジョン



地域説明会・シンポジウムにご参加ください

どなたでも自由に参加できます。当日直接、会場へおいでください。託児をご希望の方は、事前にご連絡ください。

●地域説明会

【日時・会場】下表のとおり

日時	会場
11月18日(水) 午後7時～9時	柏木地域センター(北新宿2-3-7)
12月2日(水) 午後2時～4時	榎町地域センター(早稲田町85)
12月3日(木)	午前10時～12時 落合第一地域センター(下落合4-6-7)
	午後2時～4時 落合第二地域センター(中落合4-17-13)
12月4日(金)	午後2時～4時 四谷地域センター(内藤町87)
	午後6時30分～8時30分 大久保地域センター(大久保2-12-7)

※11月18日(水)は「区長と話をしようしんじゅくトーク」の中で説明します。

●次世代育成シンポジウム

「パパの子育て、家族の子育て～みんなで子育て考えよう」
【日時】11月17日(火)午後2時～4時(手話通訳があります)
【会場】牛込筆筒区民ホール(筆筒町15)
【内容】基調講演(小崎恭弘/NPO法人ファザーリング・ジャパン理事)・シンポジウム(福富護・東京学芸大学名誉教授、田中淳・区立中学校PTA協議会、古谷範久・インフォテック(株)、中山弘子・新宿区長)、ミニジャズライブ

5つの目標と主な取り組み

目標1 子どもの生きる力と豊かな心を育てる

子どもたちが自立して生きていくために必要な豊かな知性・感性、考える力、体力づくりや生活力が育つよう、教育環境や育成環境の充実を図ります。

◎主な取り組み

▶子ども家庭サポートネットワークの機能強化、▶子どもの施策への参画促進、▶幼稚園と保育園の連携・一元化への取り組み、▶放課後子どもひろばの拡充、▶文化体験プログラムの展開

目標2 健やかな子育てを応援

妊娠・出産・子育て初期の母親と家族を支援するサービスを充実させます。また、乳幼児期・学童期・思春期を通じ、心身ともに健やかな成長を促すための支援を充実させます。

◎主な取り組み

▶妊婦への相談支援体制の充実、▶母親・両親学級等の開催、▶母親の心の健康支援の充実、▶思春期保健出張健康教育

目標3 きめこまやかなサービスですべての子育て家庭を支援

すべての子育て家庭が、心にゆとりを持って子育てができるよう、気軽に利用できるさまざまなサービスを実現します。また、保育園の待機児童解消対策等を推進します。

◎主な取り組み

▶子ども家庭支援センターの拡充、▶保育園待機児童解消対策の推進、▶学童クラブの充実、▶一時保育の充実

目標4 安心できる子育て環境

子育てを社会全体で支え合える環境づくりを進め、子育てしやすいまちの実現を目指します。

◎主な取り組み

▶地域の教育力との連携、▶落合三代交流事業の推進、▶区有施設における子育てバリアフリーの推進、▶安全で安心して暮らせるまちづくりの推進

目標5 ワーク・ライフ・バランスが実現できる環境づくりの推進

安心して子どもを産むことができ、子育てしやすい社会を実現するために、子育て家庭・事業主・労働者・地域住民への働きかけや、さまざまな生き方を実現できる環境づくりを推進します。

◎主な取り組み

▶ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度の充実、▶男性の育児・介護認定モデル事業の充実

計画(素案)へのご意見をお寄せください

パブリック・コメント制度(意見公募)

皆さんからいただいたご意見を参考に、今後計画の策定を進めます。

ご意見には、住所・氏名・年齢のほか、在勤・在学の方は勤務先または学校名を記入してください(氏名等の個人情報情報は公開しません)。

【提出先】12月14日(月)までに子ども家庭課企画係

(〒160-8484歌舞伎町1-4-1、本庁舎2階) ☎ (5273) 4260・☎ (5273) 3610へ郵送(必着)・ファックスまたはお持ちください。新宿区ホームページでも受け付けます。



新宿まち・人・しごと

四谷三栄町の新宿歴史博物館では、時代を心で写した写真家林忠彦の写真展「新宿・時代の貌ーカストリ時代・文士の時代」を12月19日まで開催しています。今年生誕100年で注目を集める太宰治を銀座の「パールパン」で撮影した写真も、代表作の一つです。▼展示室入口ではこの作品が大きく引き伸ばされ、隣に坂口安吾の背中が写っていて、太宰は安吾と話していたのだという発見もあります。中井に記念館のある林芙美子をはじめ、志賀直哉、武者小路実篤、二島由紀夫、壺井栄、舟橋聖一、キムラのよしの文士たちが新宿にゆかりを持ち、私たちに語りかける時代の空気は圧巻です。▼戦後を必死に生きる人々の姿、貧しい中にも温かみのある情景を写したカストリ時代の写真では、現在の新宿の原点とも言えるまちの息遣いや遺伝子を感じる事ができます。また、子どもたちの写真は、一つの時代も子どもは希望であると感じさせられます。▼新宿歴史博物館の今回の特別展では、写真ならではの記録性と表現力で新宿のまちの大切な記憶を多くの方々と共感したいと、資料展示も工夫しています。また、常設展示では先月末、区民の方から寄贈された貴重な夏目漱石の書簡を新たに展示しています。▼時代を代表する人々が住み、行き交った新宿のまちの歴史と文化を、よりよく知る良い機会です。ぜひ、多くの皆さんに足を運んでいただければと願っています。

区長 中山 弘子
なかやま ひろこ